

香港の経済自由度指数は25年連続で世界一
国際金融センター指数でも保険業はNo.1の評価
貯蓄性の高い米ドル建て保険加入は海外在住者の特権!

■ 香港の経済自由度は25年連続で世界一

米ヘリテージ財団が世界178カ国・地域を対象に実施した2019年度「経済自由度指数調査」において、香港は25年連続で世界一の評価を受けています。経済自由度指数は「ビジネスの自由」「貿易の自由」など12項目を100点満点で評価したものです。特に「財政の健全さ」では満点を獲得しており、過去の金融危機時にも香港内の銀行預金は全額保護されました。香港では戦後は一度も保険会社が倒産したことはなく、国際金融センター指数でも香港の保険業はNo.1の評価を得ています。

また、2014年に開始された上海・香港両証券取引所の相互乗り入れ(直通列車)によって、香港の資本市場や人民元業務が拡大しており、今後も中国本土が開放すればするほど、香港は国際金融センターとしての前途が広がっていくことが予想されます。その一方、中国本土における人民元の完全な自由化には

相当な時間を要するため、香港は引き続き中国本土に対するゲートウェイ市場としての役割を持ち続けることになるでしょう。

■ 国際金融センター香港の 金融機関を活用するメリット

香港は1997年7月1日に、イギリスから中華人民共和国へ返還されたことによって、香港特別行政区政府が発足しました。香港特別行政区は中華人民共和国において省や直轄市と同等(省級)の地方行政区とされます。しかし、返還後50年間は一定の自治権の付与と本土と異なる行政・法律・経済制度(一国二制度)の維持が認められています。

世界中の投資家が香港に集まってくる一番大きな理由は、香港の投資優遇税制にあります。個人の資産運用における投資・配当収益が非課税となり、香港内では贈与税も相続税もかかりません。また、法人税率は利益のうち200万香港ドルまでは8.25%の税率、200万香港ドルを超える利益については16.5%の税率、個人所得税率は累進課税で最高17%となっており、世界的に見ても競争力があります。これだけ税率が低ければ、金融商品を作るコストも低くなるため、香港の資産運用において個人が得られるメリットは大きいと言えます。



人生100年時代の年金対策は海外在住の今がチャンス!

個人年金・貯蓄保険・学資保険の個別相談会は随時開催中!



HPの「個別相談申込」
もしくは「QRコード」をスキャン

www.kenshin.com.hk



Kenshin
Asset Consulting

E-mail: kitsu@kenshin.com.hk

WhatsApp: 9062-0532 WeChat/LINE: [hidekitsu1](https://www.whatsapp.com/channel/00299100000000000000)



香港系大手IFA(独立系ファイナンシャルアドバイザー)に所属。香港の主要保険会社を全て取り扱い可能。ご相談無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

■ 香港の保険商品プラン例

(1) 確定利回り型終身年金プラン

申込時年齢:45歳
受給期間:65歳~100歳の場合
年払い保険料:USD10,000 × 5年
=総支払い保険料:USD50,000
年間受給予定額:USD7,844 × 35年
総収入:USD274,550
=元本の5.49倍

(2) 貯蓄型生命保険プラン

現在年齢:35歳男性・非喫煙
初年度生命保障額:USD100,000の場合
年間保険料:USD2,089 × 15年
=総支払い保険料:USD31,335
解約返戻予定額:65歳時USD84,944
=元本の2.71倍

(3) 学資保険プラン

申込時年齢:0歳
年払い保険料: USD6,196 × 3年払い
=総支払保険料:USD18,588
解約返戻予定額:18歳時USD35,638
=元本の1.92倍
解約返戻予定額:25歳時USD50,799
=元本の2.73倍

■ 香港の独立系ファイナンシャル アドバイザー (IFA) について

最後に、香港の独立系ファイナンシャルアドバイザー (IFA) から金融商品を購入するメリットについてお話をさせていただきます。香港のIFAは、例えるならば、いつでもどこでも相談できる町医者的な存在です。パソコン1台あれば、仕事はどこでもできるので、お客様のご都合に合わせて、平日夜間・週末を含めていつでもご相談に乗らせて頂きます。また、複数の金融機関の商品から時間をかけてお客様のニーズに合った運用プランの提案をさせて頂き、原則として一人の担当者が満期までお客様をサポートさせて頂きます。英語が堪能なお客様は、香港の金融機関から直接、金融商品を購入される方もいますが、その場では契約内容を理解していたつもりでも、専門的な金融用語の意味を勘違いしているケースや、担当者の異動で契約内容が分からなくなってしまいうケースが多発しています。香港での資産運用は、正確に英文で金融商品の特徴を理解できる自信がない限り、日本語サポートのあるIFAを通して購入した方が無難だと思えます。中長期運用が前提の個人年金・貯蓄保険・学資保険プランであれば、なおさら日本語サポートの有無が重要となります。



〈記事提供〉

謙信アセットコンサルティング

TEL:(852) 9062-0532

Web: www.kenshin.com.hk